



1 主 題 望ましい人間関係を形成する

2 教材名

7 ぽかぽかことばと ちくちくことば

3 主題・教材について

第1学年の子どもは、小学校の学級という新しい環境の中で、どのように自分を表現していくか、どのように友だちとかかわっていくかを学んでいく。

子どもたちは、様々な経験を通して、自分に自信をもてるようになっていたり、友だちのよさに気づいたりする。一方で、自分の気持ちや考えをうまく表現できずに悩んだり、友だちからの注意を素直に聞けずに、思わず悪口で返してしまったり、何気なく発した言葉で相手を傷つけてしまったりすることもある。

この教材では、友だちに言われて、うれしくなったり元気が出たりする言葉を「ぽかぽかことば」、悲しくなったり元気がなくなったりする言葉を「ちくちくことば」と名づけ、それぞれにどのような言葉があるかを考える。

この学習を通じて、自分に対して発せられた言葉によって、自分の気持ちが変わることに気づき、「ぽかぽかことば」をすすんで使う学級の雰囲気を生み出すとともに、互いに気持ちよく接することのできる人間関係を育てていきたい。

（関連領域：特別活動、道徳）

- 4 ねらい
- ・言われてうれしくなる言葉と、いやな気持ちになる言葉があることに気づく。
 - ・人を傷つける言葉を使わず、すすんで温かい言葉をかけようとする態度を育成する。

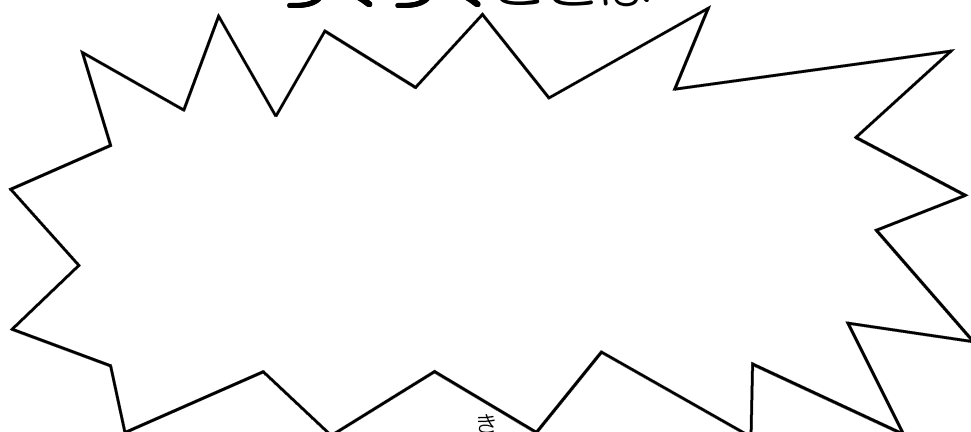
5 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	ふだんの生活で使っている言葉について考えよう。		
	・教材「ぽかぽかことばとちくちくことば」を読み、自分にとっての「ぽかぽかことば」と「ちくちくことば」を思い出す。	・自由に発言できるような雰囲気にする。	
展開	失敗したときに言われた「ちくちくことば」をさがしてみよう。		
	・自分にとっての「ちくちくことば」を思い出し、ワークシートに記入する。 ・ワークシートに記入した「ちくちくことば」を発表する。	・自分が直接言われた言葉や、だれかが言われていた言葉を思い出させる。 ・発表された言葉を、黒板や模造紙に書き出す。 ・発表される言葉によって、傷つく子どもがいることも考えられるので、この学習では、心がちくちくする言葉を使っているのではなく、それについて考えているということを伝えるなど、十分な配慮を行う。	ワークシート 模造紙 マジック
展開	「ちくちくことば」を言われると、どんな気持ちになりますか。		
	・「ちくちくことば」を言われると、どんな気持ちになるのかを考え、ワークシートに記入する。		

展 開	・ワークシートに記入したことを発表し合う。	・いやな気持ちになるということを確認する。	模造紙 マジック
	失敗したときに言われた「ぼかぼかことば」をさがしてみよう。 ・自分にとっての「ぼかぼかことば」を思い出し、ワークシートに記入する。 ・ワークシートに記入した「ぼかぼかことば」を発表する。 ・可能であれば、具体的にどのような場面で言われたのかも含めて、発表する。	・自分が直接言われた言葉や、だれかが言われていた言葉を思い出させる。 ・発表された言葉を、黒板や模造紙に書き出す。 ・具体的な場面は無理に言わせなくてもよいが、子どもたちが自分の経験を自由に話せる雰囲気をつくる。	
ま と め	「ぼかぼかことば」を言われると、どんな気持ちになりますか。 ・「ぼかぼかことば」を言われると、どんな気持ちになるのかを考え、ワークシートに記入する。 ・ワークシートに記入したことを発表し合う。	・子どもたちから出てきた言葉を声に出して言うことで、その言葉を言われるとどんな気持ちになるかを体験させる。	
	これから学級の中で、どんなことばを増やしていくといいかな。 ・これから学級の中で、どんなことばを増やせばいいか発表する。 ・この学習についての感想を出し合う。	・今後の生活の中で、この学習を活かしていくよう、はたらきかける。 ・子どもたちから出された「ぼかぼかことば」を学級に掲示するのもよい。	

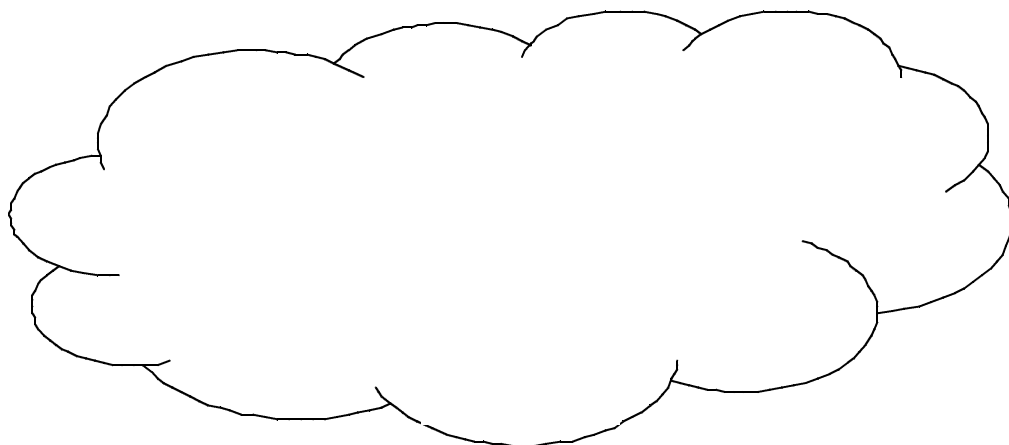
【参考資料】図書文化社『エンカウンターで学級が変わるショートエクササイズ集』

ちくちくことば



いわれると どんな^き気持ちになりますか。

ぽかぽかことば



いわれると どんな気持ちになりますか。

かんそう
